

第 154 回 多可町定例記者会見

令和 5 年 1 月 25 日 (水) 午後 1 時 30 分~ 多可町役場本庁舎 401 会議室

1		町長あい	さつ
---	--	------	----

JA ‡		•••P.1
~~~~~	秘書課より チャットボットシステム導入	· · · P.4
(3) <u>住民</u> マイ	<u> </u>	· · · P.5
• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •	観光課より 悪の多可の風物詩「杉原紙の原料、コウゾの川さらし」	· · · P.6
	ンディーホールより レディー寄席「笑福亭瓶二」	· · · P.7
~~~~~	)機関 対社団法人「紡」より -般社団法人紡」設立のお知らせとイベント開催の告知	· · · P.8
-0000000	県立北播磨特別支援学校より ロ4年度 2月授業参観	· · · P. 10

3. 質 疑

- 4. 次回のお知らせ
 - ◆第 155 回多可町定例記者会見

と き 令和5年2月24日(金) 午後1時30分~

ところ 多可町役場 401 会議室 問合先 企画秘書課 T_{EL} 32-2381

提出日	担 当 課・係	担当者名	連絡先
令和5年1月25日	生活安全課	今中 大祐	0795-32-4777

事 業 (行 事) 名

JAおよびJA共済による防災・減災に対する寄附金贈呈式

日 時(開催期間)

2月6日(月) 午前10時~

場所

多可町役場 3階 特別会議室

趣旨または目的

J Aおよび J A共済は、近年豪雨災害や地震災害が増えている状況において、地域特性にあわせた災害対策の支援のため、県内各市町に寄附を行っている。

寄附申出に基づき寄附金贈呈式を行う。

内 容

■寄附の目的

防災・減災に資する活動への使途を目的とした寄附

- ・災害備蓄品の購入
- ・災害対策用自治体施設の整備
- ・災害・減災に向けたインフラの整備
- ・防災・減災に向けた訓練等の活動

■寄付額

100,000 円 JA共済の新規契約額に基づき各市町設定

■寄附金贈呈式

J A 側出席者 J A みのり代表理事組合長、共済部部長ほか J A 共済連兵庫課長

参考資料など

令和4年度 JA・JA共済 防災・減災に向けた支援活動実施要領

防災・減災に向けた支援活動の実施について





1。 実施目的

近年、地球温暖化に伴う局地的豪雨の発生や地震の多発等、組合員・地域住民を取り巻く自然 災害リスクが増加している中、JA共済としても相互扶助の理念のもと、自然災害に強い地域社 会の実現を目指し防災・減災に向けた取組みを通じて、組合員・地域住民へ「安心」・「満足」を提 供する活動を展開しています。

2 実施内容

令和4年1月より12月末までの1年間の期間において生命総合共済・建物更生共済・自動車 共済(新規)の新契約に応じ、1件あたり100円を地方自治体へ寄附いたします。 なお、当活動は3年間実施予定としています。

3. 寄附の目的

防災・減災に資する活動とし、具体的には以下の活用を目的とした寄附とします。

- ①災害備蓄品の購入 (避難所等において必要となるテントや物資の整備)
- ②災害対策用の自治体施設(避難所等)の整備
- ③災害・減災に向けたインフラの整備 (洪水対策、崖崩れ・落石対策、高潮・ 波浪対策、雪崩対策、避難路の安全対策、土砂災害対策)
- ④防災・減災に向けた活動(各地域での防災訓練や防災・減災の啓蒙活動) など

4. 寄附にかかる今後の依頼事項

時期	実施事項		備考	
令和 4 年 12 月	①寄附金送金にかかる打合せ	<入金先>		
	②入金先の確認	銀行名:	支 店 名	
	③寄贈式の実施可否	種 別:	口座番号:	
令和5年1月以降	①寄附申出書の提出	口座名義人:		
	②寄附金の送金	(フリガナ):		
	③採納通知書(受領書)			

※別途JAより市町担当者へご連絡いたします。

提出日	担当課·係	担当者名	連絡先
令和5年1月25日	生活安全課	今中 大祐	0795-32-4777

事 業(行 事)名

兵庫県内トヨタ各社との電源車からの電力供給の協力に関する協定締結式

日 時 (開催期間)

2月24日(金) 午前11時~

場所

多可町役場 2階 大会議室

趣旨または目的

頻発化・激甚化している大規模災害において、停電時の避難所運営への対応は大きな 課題である。

このたび、多可町と兵庫県内トヨタ各社とは、多可町内において災害が発生した場合、 避難所等における外部給電可能な車両からの電力供給に関する協力について協定を締 結する。

内容

■協定の相手方

兵庫トヨタ自動車 (株)、神戸トヨペット (株)、トヨタカローラ (株)、ネッツトヨタ神戸 (株)、ネッツトヨタゾナ神戸 (株)、トヨタモビリティパーツ (株) 6社

■協定書の内容

各社が保有する外部給電可能な車両について、多可町の要請に基づき貸与する 〇外部給電可能な車両

- ・燃料電池自動車 ・電気自動車 ・プラグイン・ハイブリッド自動車
- ハイブリッド自動車

■当日の流れ

- 協定の概要説明
- 締結
- 記念撮影
- ・あいさつ

※締結式終了後、本庁舎駐車場にて非常時給電システムの紹介・実演

参考資料など

・災害時の避難所等における外部給電可能な車両からの電力供給の協力に関する協定書【案】 別紙

提 出 日	担当課	担当者名	連絡先
令和5年1月25日	企画秘書課	足立 浩司	0795-32-2381

事 業(行 事)名

住民問い合わせ対応「AI チャットボット」を公開

日 時 (開催期間)

1月20日より公開

場所

多可町ホームページ・広報たか

趣旨または目的

「忙しくて役場行けない。電話による問い合わせでもできない。」そんな声に答えるべく24時間365日住民のみなさんからのご質問にお答えする『AI チャットボット』を導入・公開した。

内容

兵庫県の市町連携共同検討ワーキンググループにおいて住民問い合わせ対応 AI チャットボットシステムを導入。

一般的な手続きの質問に加え町独自の回答など約3,700回答を準備し公開した。公開後も住民のみなさんから寄せられる様々な質問を受け、回答できなかった質問にも AI を活用しさらなるブラッシュアップを図る。

[URL]

https://hyogo.public-edia.com/webchat/town_taka/

【QR コード】





提出日	担当課	担当者名	連絡先
令和5年1月25日	住民課	竹内 克企	0795-32-2383

事 業(行 事)名

マイナンバーカード休日受付臨時窓口を増設

日 時 (開催期間)

2月11日(土)、2月25日(土) 午前9時~午後3時

場所

多可町役場 住民課

趣旨または目的

町では、平日に役場に来庁できない方のために、毎月第2、4日曜日午前中に休日窓口を開設している。

マイナポイントの受け取りができるマイナンバーカードの申請期間が2月末までとなり、多くの申請が見込まれることから2月の休日窓口を増設し対応する。

窓口の混雑緩和と住民の方の利便性向上を図り、マイナンバーカードの普及啓発に取り組む。

内 容

2月のマイナンバーカード関連事務の休日受付を以下のとおり増設する。 (ただし、事前予約が必要。)

【休日窓口開設日】

- 2月11日(土)午前9時~午後3時(マイナンバー事務のみ) ※増設
- 2月12日(日)午前8時30分~正午
- 2月25日(土)午前9時~午後3時(マイナンバー事務のみ) ※増設
- 2月26日(日)午前8時30分~正午

※火曜延長窓口

毎週第2、4火曜日 午後7時まで

提出日	担 当 課	担当者名	連絡先
令和5年1月25日	杉原紙研究所	藤田 尚志	0795-36-0080

事 業 (行 事) 名

厳寒の多可の風物詩「杉原紙の原料、コウゾの川さらし」

日 時 (開催期間)

 $1\sim3月$

- (1月下旬~2月中旬) 不定期で実施
- (2月下旬~3月) 水曜日を除くほぼ毎日実施
- ※杉原川の水量不足、増水・濁流等により実施状況が変更になる場合があるため、事前に問合せをお願いします。

場所

杉原紙研究所付近の杉原川

※杉原紙研究所(休館日:毎週水曜日)

住所:多可町加美区鳥羽768番地46

電話:0795-36-0080

趣旨または目的

杉原紙の原料であるコウゾの白皮を川の中にさらす作業を実施。

冬の寒い時期にさらすことで白さが増す。

内容

コウゾの表皮を削った後の白皮を一定量に束ね、川の中に浸して日光に当ててさらす。さらす前に、白皮に付着しているゴミ等を落とすために、2~3回程度水面に打ち付ける。一昼夜さらした後、翌日に引き上げる。その際、もう一度水面に打ち付ける。引き上げた白皮は竿などに干して乾燥させる。

杉原紙研究所は、町内でも特に気温が低い地域で、真冬の冷たい水でコウゾをさらす 作業は、町の風物詩となっている。



提出日	担当課·係	担当者名	連絡先
令和5年1月25日	生涯学習課 文化会館	安平 智香子	0795-32-1300

事 業 (行 事) 名

'22 ベルディーホール自主公演事業 ワンコインライブ ベルディー寄席「笑福亭瓶二」

日 時 (開催期間)

公演 2月26日(日) 開演 1回目:午後2時00分~ 2回目:午後4時00分~ (2回公演・開場はいずれも30分前)

場所

多可町文化会館 ベルディーホール 会議室

趣旨または目的

気軽に公演を楽しんでいただけるようワンコインライブを開催する。

今回は、多可町出身の落語家、笑福亭瓶二さんを迎え、普段落語に触れることの少ない方にも聴いていただき、古典文化の裾野拡大に努めたい。

内 容

出演者: 笑福亭瓶二 (多可町出身で笑福亭鶴瓶の弟子)

チケット料金:500円(全席自由)

チケット発売日:1月7日(土)

参考資料など

チラシ

提出日	担 当 課·係	担当者名	連絡先
令和5年1月25日	一般社団法人 紡	山本 早希	080-4334-2990

事 業 (行 事) 名

「一般社団法人紡」設立のお知らせとイベント開催の告知

日 時 (開催期間)

1. 法人設立について

【団体名】一般社団法人紡

【住 所】679-1101 兵庫県多可郡多可町中区門前333-2

【電話】080-4334-2990

【メール】takatsumugi@gmail.com

【設立】2022年7月25日(任意団体の創設:2017年3月)

【代表理事】山本 早希

【理 事】小椋 聡/太田 亨

【監事】前川一成

【社 員】5名

- 2. 古民家改修ワークショップ: 古民家改修ワークショップ「ウッドテラス作り①~③」 2023年2月11日(土・祝)/3月12日(日)/4月8日(土)の3回開催
- 3. 多可町産山田錦を使った「手作りスコーンにトッピングをしてバレンタイン用プレゼントを作ろう! | 2月11日(土・祝)
- 4. 古民家改修ワークショップ: 「Stay×TAKA「西山」古民家大掃除大会」2月25日(土)

場所

- 2. Stay×TAKA「門前」(中区門前 333-2)
- 3. Stay×TAKA「門前」(中区門前 333-2)
- 4. Stay×TAKA「西山」(加美区西山 610)

趣旨または目的

地方都市の人口減少と日本全体の高齢化によって、適切に管理されていない空き家の問題が深刻化している。多可町には、日本古来の伝統技法を使った古民家が数多く残されているが、ひとたび人が管理をしない空き家になってしまうと急激に老朽化し、そのまま放置しておくと瓦の崩落や倒壊などの危険性がある危険空き家になってしまう。しかし、これらの古民家は多可町ののどかな風景を形成する重要な建物であるだけでなく、かつてはその中で人々が暮らし、多くの思い出や歴史が詰まった大切な資産でもある。古材を使用したこうした古民家は、一度取り壊してしまうと二度と同じものは復元することができない。

私たち「一般社団法人紡」は、こうした大切な資産を有効に活用するために、古民家再生の専門家とボランティアの力を借りて居住可能な状態に修復し、移住を希望する方や店舗・事務所の経営を考えておられる方に使用して頂きたいと考えている。こうした取り組みは、単にその物件が使用可能な状態に蘇るだけでなく、古民家に対する価値観の転換を図るとともに、町外のボランティアやイベント参加者が集まることによって、多可町という素晴らしい景観と歴史を持った町の魅力を知って頂く切っ掛けにもなると考えている。

皆さまのご協力により、本来ならば壊されるはずだった家屋に再びあかりが灯ることによって、空き家が目立つようになっていた地域に再び活力が取り戻されることを願って事業を行っている。

ウェブサイト: https://takatsumugi.com/

内 容

- 1. 法人設立と事業内容についての説明
- 2. 現在、宿泊場所・Stay×TAKA「門前」とシェアキッチン「紡食堂&紡酒場 monzen」として営業を行っている施設の裏庭に、3回シリーズでウッドテラスを作る。古民家改修のDIY は人気があり、プロの大工に指導をしてもらいながら改修のノウハウを学ぶと同時に、移住希望者などの田舎暮らしに興味を持っておられる方には、地域での仲間づくりの場としても活用してもらっている。
- 3. 「2.」と同日開催で、Stay×TAKA「門前」のシェアキッチンを使って多可町産山田 錦を使ったスコーン作りをしている「HINODE scones」とのバレンタイン企画。 「HINODE scones」のスコーンを使ってトッピング&ラッピングができるワークショップを開催すると共に、カフェ運営をしてその場で食べていただくことができる場を提供する。地域の特産品を使った新商品開発と、事業運営の後押しをする場として提供。
- 4. 紡の拠点となる Stay×TAKA シリーズの第2弾。加美区西山の魅力的なロケーションに建っている古民家を活用する最初の一歩として大掃除大会を実施する。伝統工法を用いて建てられた古民家を共に再生することで、地域の風景の一部である歴史的建造物を守りつつ、多可町の魅力を発信する事業を行う。ゆくゆくはこの建物をStay×TAKA「西山」として活用し、地域の拠点となる事業を行ってくださる方を募集する予定。

- 告知チラシ3種類(2./3./4.)
- シェアキッチン利用者募集案内チラシ
- 視察受入れのご案内

北はりま特別支援学校 記者発表資料

提出日	担 当 課·係	担当者名	連絡先
令和5年1月25日	進路指導部・阿部	教頭 谷水	0795-32-3672

事 業 (行 事) 名

令和4年度 2月授業参観

日 時 (開催期間)

2月4日(土) 午前9時20分~正午

場所

兵庫県立北はりま特別支援学校 校内

趣旨または目的

保護者の本校への教育活動に対する理解を一層深める

内 容

9:20~ 小学部・高等部保護者受付

9:45~10:30 小学部・高等部授業参観

10:30~10:50 小学部・高等部保護者帰校

中学部保護者来校(駐車、または車移動)

10:50~11:00 中学部保護者受付

11:00~11:45 中学部授業参観

11:45~12:00 中学部保護者帰校(車移動)

※駐車場 中庭、農園前アスファルト駐車スペース、農園奥

参考資料など

別紙 令和4年度2月授業参観実施要項

令和 4 年度 2 月授業参観実施要項

Ⅰ 日時 令和5年2月4日(土) 9:20~12:00 『 代休日2月6日(月)』

2 時程 9:20~ 小学部・高等部保護者受付

9:45~10:30 小学部・高等部授業参観

10:30~10:50 小学部・高等部保護者帰校

中学部保護者来校(駐車、または車移動)

11:45~12:00 中学部保護者帰校(車移動)

3 駐車場 中庭、農園前アスファルト駐車スペース、農園奥